

パブリックアートとは 公共空間に設置された美術作品のこと。彫刻やモニュメント、壁画や建築の一部でもあります。

パブリックアートの楽しみ方…身近な作品をさがしてみよう！



モニュメント《人々の門》1986年、ステンレス（関根伸夫・環境美術研究所 日時計モニュメント《人人の門》）



黒川晃彦《木陰にて》1995年、ブロンズ（府中市彫刻のあるまちづくり7）

- 1 目でよく見る（何があるかな？何にみえるかな？）
- 2 まわりをまわって見る（うごく見え方が変わるかな？）
- 3 まねをしてみる（どんな気持ちができるかな？）
- 4 手でさわってみる（何でできているかな？）※さわれない作品にはちゅうい。
- 5 まわりとの関係を見る（どんな場所にあるかな？）
- 6 どんな意味があるのかを考える（どうして作られたのかな？）
- 7 作者や題名をさがす（だれが作ったのかな？わからないときは調べよう！）
- 8 自分が見て感じて味わったことを伝える（写真に撮ってSNSにアップも！）

参考文献

- ・『彫刻のあるまち ふちゅう』パンフレット、府中市美術館、2003年
- ・『〈環境美術〉なるもの—関根伸夫展』図録、川越市立美術館、2003年